

京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： ホッケー 専門部
策定日： 令和 3 年 4 月 19 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- ・ 申込締切日までに、大会参加加盟校のうち2校（男女別）が、参加を辞退した場合、大会は中止する。

2、大会参加条件について

- ・ 大会参加者に大会2週間前からの健康観察を義務づけ、その間体調に異常があった場合、参加は認めない。なお、2週間の健康観察は個人チェックシートにて行い、大会当日に提出する。
- ・ 大会当日、発熱、喉の痛み、咳、全身の倦怠感など風邪と考えられる症状がないこと。

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- ・ 大会会場において、発熱者が出た場合、速やかに関係者（機関）に連絡し、帰宅（受診）を促す。
- ・ 発熱者が、新型コロナウイルスに感染している可能性がある場合は、所属するチームは大会に参加できない。
- ・ 「新型コロナウイルスに感染している可能性」については、発熱者の家族等に聞き取りを行い、発熱者の周囲に過去2週間に以内に感染者がいないか念入りに確認をとり、チームの責任者と感染予防対策担当者が判断する。

4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- ・ 抽選会前に、辞退が決定した場合は、参加申込の取りやめとし、参加料は返還する。

5、学校（チーム）応援者・観客について

- ・ エントリーメンバー以外でも、部に所属する生徒は来場可とする。（一般生徒の来場は、禁止とする）
（コロナ禍の状況に合わせて対応を変えることもある）（試合会場に応じて、別途対応をする）
- 各チームの応援・観客人数は、最大60名までとする。
（保護者・大会エントリーメンバー外の選手とする）
ただし、競技施設の要請等により、上限を変更する可能性がある。
- ・ 入場する際は、受付で健康観察を行い、項目に該当しなければ来場を許可する。
- ・ 基本的な感染対策を徹底し、発声を伴う応援は一切禁止する。会場内において、参加者と接触することを禁止する。

6、専門部独自の感染症対策について

- 会場において
 - ・ 試合会場内の必要箇所（会場出入口、ベンチ、トイレ等）にアルコール消毒液を設置し、常時手指消毒ができる体制を整える。
 - ・ 更衣室の利用については更衣のみ可とするが、ミーティングなどの使用は控える。
（当該チームが使用前後に消毒を行う）
 - ・ 試合開始直前まで（アップ、ダウン時は不要）マスクを着用する。（ベンチ内も着用）
 - ・ 「協会登録証」を携行する選手・関係役員以外は、フィールド・大会本部への入室を禁止する。
- 競技において
 - ・ 試合前後の挨拶、ベンチ前での円陣を組んでの声出しは禁止する。
 - ・ 試合前後の握手はせず、黙礼のみ。競技中のハイタッチや握手、大声での気合がけの行為は禁止とする。
 - ・ 試合間隔を確保し、使用ベンチの消毒などを行う時間をとる。（当該チームが使用後に消毒を行う）
 - ・ 試合前のセレモニーを簡素化する。
 - ・ ボールサーバーなどの補助員には、ビニール手袋を着用する。
 - ・ 給水については、必ずマイボトルを持参することとし、共有は認めない。
- 大会役員、その他において
 - ・ 大会役員は、常にマスクを着用する。
 - ・ チーム責任者は、参加者に会場地までの往復途上における感染防止対策についても指導すること。
 - ・ 大会後、1週間以内に体調不良を訴える選手・スタッフ等が判明した場合、速やかに専門委員長に連絡をすること。